

埼玉経済

非常時 明かりは勇気

マイクや商品化続々 防犯カメラ

春日部の暁峰 太陽光ライト

停電時も電源を必要とせずに点灯し続けるソーラー充電式LED(発光ダイオード)ライトを開発、販売する春日部市下大増新田の「暁峰」(小林翔社長)。

防犯カメラ付きや非常時にスマートフォンなどに充電できる機能など、ユニークな照明機器を次々と商品化する同社の理念は「安心安全と防災、防犯」。警察や行政の厳しい目から信頼を勝ち取ってきた小林社長は「いざという時、人は明かりがあれば勇気が湧く。太陽光エネルギーと人が共存できる環境文化を育てていきたい」と目を輝かせる。

(江田崇)



公園に設置された自社製ライトを紹介する小林社長。上部のソーラーパネルで太陽光から電源を確保するため配線が不要だ。春日部市下大増新田

1999年創業。東日本大震災で千葉から埼玉に徒歩で帰宅する際、災害時に役立つ製品の開発を誓った小林社長。ソーラーLEDライトは、太陽光を蓄え、周囲の明るさに応じて自動的に点灯、消灯するため、電源の配線や電気代は不要。

機能も充実。防犯カメラを搭載した商品は、神奈川県警で実際に使用され、警戒地域の街頭監視で今も市民を見守り続けるほか、新一万円札のモデル決定で話題の渋沢栄一記念館(深谷市)にも設置されている。300

万画素の鮮明な映像が遠隔でリアルタイムに確認でき、防犯マイク付きの商品は録音だけでなく、周囲の音声をキャッチし、現地との会話も可能。映像越しに危険が迫った場合は「コラッ!」など、監視者の声を現場スピーカーを通して発することもできる。

また、ソーラーで蓄電した電源を、いざという時にスマ

武蔵野銀行は企業の合併・買収&Aの実績や地域貢献度など他銀行や地銀の関連会社の取り組を評価する日本M&Aセンターの「第8回M&Aバンクオブザイヤー」の関東地域ブロックの「地域貢献大賞」を受賞した。過去に他部での受賞はあるが、地域部門の賞初。

地域貢献大賞の7銀行などからばれる最高賞の「バンクオブザイヤー」には北陸銀行(富山県)が連続で選出された。

バンクオブザイヤー

武蔵野銀は後継者不足などを垂に事業承継の課題解決、地域産業育成、雇用の維持拡大につながるような業務に注力。継続的に取り組むを強化しており、それらが評価された。

表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。同社

ホの充電などに供給できる照明機器も売りに出している。

小林社長は「もっと寿命が長く、高性能で使いやすい商品を目指し、これからも改良を続けていきたい」と意気込んでいる。

問い合わせは、暁峰(☎048・812・4321)へ。

県内企業

帝岡 ながまや
足に記
と、正
した如
河減の
・シヨ
4月調
ぐ下落
員「過
増の
コロナ
皮で全



埼玉りそな銀行は川越支店と川越店を川越駅西口に新設の複合施設ビル